



中村匡志 議員
(白和)

問 給食費無償化を
導入するか

自民党「こども・若者」輝く未来創造本部の提言を受け小倉大臣が発表した試案では、地方自治体の取組への支援として、給食費無償化に向けた方向性が打ち出された。国による金銭的支援の枠組みが今後構築された場合、市長は小中学校給食費無償化を導入するか。

答 国の動向を注視し
対応を判断する

学校給食に対する保護者負担は、地方自治体が個々に対応するのではなく、国が全国一律に対応すべき課題と捉えており、国の動きを歓迎している。今後も国の動向を注視し、具体的な計画が示されたら、市としての対応を判断していく。

問 通学路に防犯カメラを

東北道アンダーパスで子どもたちが危険な目に遭うと聞く。通学路への防犯カメラの設置は喫緊の課題である。導入コストとランニングコストは。防犯カメラの拡充の考えは。豪雨の際の水位監視兼用でもよいのでアンダーパスに設置していただきたいかがか。

答 地域の安全確保に
努めていく

防犯カメラ1台当たりの設置費用は、60万円から90万円程度、電気料などの経費は年間約5千円となる。公用車等の車載カメラを見守りに活用し、警察や市内事業者等と連携した取組を検討する。また、アンダーパスへの設置は、関係課と連携し検討する。



通学路となっているアンダーパス



中川幸廣 議員
(白和)

問 新白岡ヤオコー脇の
市道に横断歩道を

新白岡ヤオコー脇の市道は、付近にテニスコートや勤労者体育センターがあり人の横断が絶えない。事故防止の点から横断歩道を設置すべきである。また、寺塚方面からの車両に対して、前方が登り坂なので人の横断が見えにくいいため注意喚起の看板を掲示できないか。

答 効果的な交通安全対策を
検討していく

横断歩道は、埼玉県公安委員会が設置している。市は、区長からの要望により、公安委員会に要望書を提出している。今後、横断歩道の設置について区長と相談していく。当区間の交通安全対策は、警察と相談し、表示板の設置を含め、効果的な対策を検討していく。

問 学校事故の防止を

ここ数年間の小学校・中学校で起こった運動会や体育祭、クラブ活動の際の事故件数と事故の内容、後遺症が残らなかったかについて伺う。そして、事故を防止する対策としてどのようなことを行っているか。

答 学校事故の防止に
努めていく

昨年度の件数は、小学校165件、中学校182件であり、部活動や体育の授業等での挫傷・打撲、骨折、捻挫が多く、過去3年で後遺症が残った児童・生徒はいない。事故防止対策として、各学校で「学校の危機管理マニュアル」を作成し安全確保に努めている。

